

平成 26 年度の工事及び設計業務の検査結果について

1 検査の実績について

(1) 工事の設計から検査までの流れ

①設計業務→②設計業務検査→③積算・起工→④工事契約→⑤工事監督→⑥工事検査

(2) 検査実績（200万円以上の工事及び500万円以上の設計業務）

H26 年度	工 事					設計業務
	土 木	建 築	電 気	機 械	合 計	
中間検査等	146	203	113	121	583	123
完成検査	947	177	268	195	1,587	119
合計	1,093	380	381	316	2,170	242
概算金額(億円)	300	90	50	50	490	10

- ・ 工事では、コンクリートや橋梁などが「長期安定した構造物となっているか」及び、ポンプ・制御盤等の機器類などが「設計性能を満足しているか」を検査。
- ・ 設計業務では、「仕様書・設計書の作成が適正か」「成果品の品質が良いか」等を検査。

2 成績評定について

(1) 成績評定実績

H26 年度	工 事					設計業務
	土 木	建 築	電 気	機 械	平 均	
評定平均点	73.2	70.5	72.9	72.6	72.8	70.2

- ・ 工事・設計とも、担当者・担当係長・検査員がそれぞれの立場で評価し、成績評定点としている。
- ・ 成績評定の基準点は65点、80点以上は優秀、60点未満は不良。

(2) 評定平均点の推移

年度別推移	H22	H23	H24	H25	H26
工事平均点	72.6	72.7	72.8	72.8	72.8
設計平均点	72.3	69.8	70.0	70.7	70.2

- ・ 過去5年の推移を見ると、ほぼ一定の評定点となっている。

(3) 優秀件数（80点以上）

H26 年度	工 事					設計業務
	土 木	建 築	電 気	機 械	合 計	
優秀件数(A)	63	13	11	5	92	2
成績評定対象(B)	703	133	156	95	1,087	83
割合(A)/(B)	9.0%	9.8%	7.1%	5.3%	8.5%	2.4%

- 優秀工事表彰を受賞した場合、契約室から2年間の優良業者認定（土木、造園、建築、水道施設など8業種のみ）が与えられ受注機会が拡大。
- 工事・設計とも、総合評価落札方式の場合、過去の評定点に基づいて評価基準点が配点されるため有利。

(4) 不良件数（60点未満）

H26 年度	工 事					設計業務
	土 木	建 築	電 気	機 械	合 計	
不良件数	0	1	0	0	1	1

- 工事では、工事写真の紛失など施工管理の不備。（2ヶ月間の指名停止）
- 設計業務では、工程管理・成果品の品質管理の不備。（1ヶ月間の指名停止）

3 安全対策及び事故発生状況について

(1) 市発注工事における事故発生状況

件数 (うち労災件数)	うち死亡 事故数	事故の型					
		墜落等	転倒	巻込まれ等	切れ等	その他	公衆災害
24 (9)	0	3	1	1	2	2	15

- 全国の建設業では昨年377件の死亡災害が発生、本市での死亡災害は0件。
- 平成26年度は、安全対策として549件の現場安全点検を実施し、389件を指摘。
- 労働災害では、安全帯未着用による足場からの墜落や不安定な態勢での工具類使用による手足の裂傷などが発生。
- 公衆災害では、仮設通路の段差による歩行者の転倒や重機による信号柱の倒壊などが発生。
- 事故の傾向としては、第三者への災害や物的損害など公衆災害が半数以上。

4 今後の検査方針

- 工事では、実際の施工が適正な管理の下に実施され、品質が確保されているかを確認するため「施工計画書点検」「中間技術検査」「安全点検」を3つの柱として、品質・安全面で重要な工事を中心に施工監理型検査を行っていく。
- 業務委託では、設計業務の適正かつ効率的な履行を確保するとともに、成果品の品質向上を図ることを目的に検査を行っていく。